



目標を掲げて！

2026年が気持ちよく始まりました。昨年末からの冬休み期間中に子供たちは多くのことを経験したのではないのでしょうか。年末には2025年の総括、そして、年始には2026年の抱負について考えることができたと思います。子供たちにとっても、保護者の皆様にとっても本年が素晴らしい年になりますよう、お祈り申し上げます。

さて、3学期も始まり、いよいよ年度のまとめの時期になりました。3ヶ月後には1年生から5年生までは一つ学年が上がり、6年生は中学校に進学となります。一人一人が大きな希望を持ち4月が迎えられるよう、しっかりと学年のまとめをしていきたいと考えています。そこでちょっと考えていきたいのが「長期目標」と「短期目標」です。保護者の皆様も小さいときに描いた将来の自分の姿であったり、部活動や習い事での日々の目標を考えながら取り組んだこともあったと思います。保護者の皆様の経験を元に子供たちと一緒に考えていただきたいと思います。

「長期目標」は、心を支える航海図と考えることができます。「自分は将来どんな人になりたいか」「どんな世界を見たいか」という大きな夢です。すぐに叶うものではありませんが、これがあることで、子供たちは困難にぶつかったときに「あきらめない理由」を見つけることができます。また、将来とまではいなくても、「4月の自分を想像する」ことでも良いと思います。

「テストの点数」の先にある、子供たちのワクワクする未来について、ゆっくり耳を傾けてあげてください。「短期目標」は、自信を積み上げる階段と考えることができます。遠い目標だけでは、今何をすべきか迷ってしまうことがあります。そこで大切なのが、短期目標、つまり「今日、これだけはやる」という小さな約束です。「毎日10分だけ机に向かう」、「自分から挨拶をする」、「脱いだ靴を揃える」 こうした、「頑張れば必ずできること」を目標に据えます。これが達成できたとき、子供たちの心には「自分はやればできる」という自己肯定感が蓄積されていきます。

また、学校と家庭で育む「自信」も大きな支えとなります。大きな夢（長期目標）を持ちつつ、目の前の小さな一歩（短期目標）を褒めていく。このバランスが、子供たちの主体性を育てるのではないのでしょうか。私たち教職員も、一人ひとりの大きな夢を応援しながら、日々の小さな成長を見逃さず、全力で支えていきます。各御家庭においても、子供たちの小さな階段を一段登るたびに、「よく頑張ったね」と温かな声をかけていただければ幸いです。また、「三日坊主」という言葉がありますが、これは目標を立てて取り組んだのに、すぐに飽きてしまうことを指しています。「今日できたんだから、自分にもできる」程度の簡単な短期目標から取り組むことが、飽きない秘訣かもしれません。

大明小学校においても、日々の学校生活の中での「子供たちのできたことを褒める」ことを短期目標にしていきたいと考えています。また、「4月の一回り成長した子供たちの姿」「全校の子供たちが安心して登校できる学校、保護者の皆様が安心して登校させることができる学校」を長期目標として全職員一丸となって教育活動を行っていきます。あっという間に過ぎてしまう3学期ですが、全力で走っていきます。本年も、よろしくお願いします。